

## 北九州市の斜面地住宅とまちづくり

北九州市立大学 国際環境工学部 建築デザイン学科 福田 展淳

1. 北九州市の斜面地住宅と高齢化問題
  - ・北九州市の斜面地住宅の状況と今後問題が発生しやすい地域
  - ・斜面地住宅と高齢化問題
  - ・車を前提とした都市からの脱皮（現在の依存度）
  - ・ウォークブルタウンと公共交通ネットワーク
    - バスは鉄道で結べない距離を、タクシーはバスで補えない機能を補完
  - 1) 賑わいの創出：街なかの楽しみづくり・・・商店街の活用、まちなかレンタサイクル、まちなかサポーター、まちなか散策コース、アーケード
  - 2) 街なか居住の推進
    - 郊外：戸建優良住宅の公営住宅化、子育て支援世帯へ
    - 街なか：高齢者対応型住宅（医療、ケアマンション）
  - 3) 1 km 圏内の住宅用容積率の設定（用途別容積型地区計画）
2. 都心型緑地の確保
  - ・緑化の意義（ヒートアイランド、生物多様性の保全、美しい都市景観、安らぎと憩い）
  - ・街路樹整備／河川堤の緑化促進
  - ・敷地内緑地の確保（住宅地域、商業業務地域）
    - ・・・1000 m<sup>2</sup>以上の敷地 20%の敷地内緑地の確保
3. 戸建て住宅から集合住宅へ
  - ・土地区画整理事業と等価交換との組み合わせ（住宅による市街地再開発事業）
  - ・南面日照確保型街区、集合住宅と戸建て住宅の融合（共用緑地の確保）
  - ・良好な日照環境とタワー型住棟
4. 持続可能なまちづくり
  - ・アメリカのノーフォーク市の住宅地 資産価値を残す工夫
    - 100年前の住宅地が持つ価値
    - 景観に対する並々ならぬ配慮
  - ・既存資産の有効利用と都市資